






### SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		作成日：令和 4年 5月27日																	企業・団体名：トヨタカーラ高知株式会社																
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																													
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・採用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（研修の実施、相談窓口の設置）				4.4	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3											16.1 16.2 16.7									
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメント研修を実施している ・ハラスメント相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8												16.1										
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、半日単位で使用できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励、育児、ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の認証を取得している ・育児休暇・育児休業取得促進宣言を行っている									8.5 8.8																					
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や、受入環境・労働環境の整備を行っている（交流会、意見交換会の開催など）				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3																				
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・社員向けの労働安全衛生講習会を実施している ・月1回の安全衛生委員会を開催し、社員に展開している										8																				
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している ・全社員にストレスチェックを実施し、高ストレス者や本人の希望があれば産業医の面談を推奨している																														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ・特別支援学校就職サポート隊こうちに登録し、障がい者雇用環境の整備をしている					5.1 5.5					8.5	10.2 10.3																			
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している					4	5.5				8	9																			
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている										8.5	10.2 10.3																			
	環境	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●		・健康経営優良法人（経済産業省）の認定を受けている ・高知県ワークライフバランス認証制度における健康経営部門の認証を取得している ・協会けんぽの健康経営「高知家」プロジェクトに参加し、取り組みを進めている										8																			
11		【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●		・ウェブ会議を積極的に導入している ・対面での打合せでは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している										8	9.1		11	12																
12		【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●		・事業計画にデジタル化の取組を位置づけている ・オンライン会社説明会を実施している											8	9.1		11	12															
13		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・修理や点検等で排出された廃棄物はリサイクル物と廃棄物に正しく分別し、業者回収まで適切に保管している														11.6	12.4		14.1													
14		【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・エネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置しているほか、LEDの使用を徹底し、オフィスの節電に取り組んでいる ・エネルギー使用量を算出している ・【予定】社用車にEV車を導入する										7.3							13													
15		【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、削減の計画を策定するとともに、社用車のEV化や、クールビズ・ウォームビズに取り組んでいる											7.2 7.3				12.4	13.3														
16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための適切な処理をしている															11.6	12.4															



カテゴリー	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域との対話・見学会などを実施し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17		
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・地域の防災活動に参画している ・地域の次世代を担う人材（学生・子ども等）との交流・育成の機会（キッズスクール等）を提供している ・社員や地域の方を対象に年2回の献血を実施している				4							11				14	15		17	
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・生産者や加工事業者等との連携により、県産原材料の優先的利用を促進し、地産地消を推進している								8	9		11	12							
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・職場の掲示板等で、法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全従業員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている																	16		
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している								8	9									17	
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当者又は責任者（担当役員）を、任命している																		16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・定期的なアンケートの実施と、その回答の公表など、顧客の声（特に苦情）を大事にし、双方向コミュニケーションに努めている ・取引先や行政機関など、利害関係者（ステークホルダー）と連携した取り組みを進めている																		16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	●		・法令順守（コンプライアンス）の方針、手順などの体制が整備されている ・内部通報制度（匿名性の保障や社外直通窓口など）が整備されている																			16
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	●		・個人情報漏洩賠償責任保険に加入している																			16
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	●		・CSR方針を策定し、HPで取り組みを公表している																			16
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型コロナウイルスなどに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる	●		・南海トラフ地震に備えてBCPを策定し、年に2回の訓練と見直しを行うなど BCMにも取り組んでいる									9		11			13	13.1			16	
48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる ・円滑な事業承継に向け、検討を進めている									8	9									17	
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・定期的な避難訓練を行っている ・事業所において、食料や資機材を備蓄している ・従業員にハザードマップを周知している ・事業継続計画（BCP）を策定している ・「南海トラフ地震対策優良取組事業所認定制度」を取得し、南海トラフ地震に備えた事業継続、社員教育、地域貢献を実施している				4							11.5			13.1				16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている	●		・高知県及び高知市の防災士養成講座を社員が受講し、防災士の育成を図っている ・会社の施設にAED（自動体外式除動器）を設置している	1.5		3	4						10.2	11.5			13.1				16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●		・顧客や従業員、地域の子どもなどに対し、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている ・社内でSDGsに関する情報を発信し、社員全員にSDGsへの意識が浸透している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

